

報告書

A01-3 骨格筋の発達・維持・萎縮における負荷依存性の分子基盤の理解

研究代表者/派遣者：瀬原 淳子（京都大学 ウイルス・再生医科学研究所・教授）

派遣期間： 2019年6月7日～6月20日

派遣先： Institut Pasteur, France, Zebrafish Disease Model Meeting, Imperial college

瀬原は、この新学術領域での研究を開始して以来、パリにある Pasteur 研究所の Miria Richetti 博士と共同研究を行って来た。私がパリに赴くだけでなく、京大に Miria さんを2ヶ月間招聘し、宇宙における骨格筋・骨格筋幹細胞の変化、それともなうミトコンドリアの変化についてディスカッションし、ともに研究してきた。今回の派遣もその一環であり、双方の実験結果の進捗について、報告・ディスカッションをすることが主たる目的であった。研究を行っているテクニシャンの方ともディスカッションでき、有益であった。

この機会を利用して、イタリアで開催された Myogenesis: Building, Maintaining and Regenerating Skeletal Muscle, Gordon Research Conference 2019 にも参加した。この会議は骨格筋の発生・再生・維持・老化などに関わる世界の主な研究者が集結する定期的なもので、今回も非常に豊富な情報を得、また発信する機会を得ることができた。また、学会の間だけでなく、そのあとも骨格筋の老化研究を推し進め研究者らのディスカッションなど、機会を作って何人かの研究者とディスカッションすることができた。



参加した Building, Maintaining and Regenerating Skeletal Muscle, Gordon Research Conference 2019 の記念写真（私は真ん中の列にいる）